

[基本教育科目/表現力の養成]

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語Ⅱ (応用・医療英語)		NLA32_001	必修	1	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
和田 望		教員控室	kango	随時メールで質問等受付		
授業の目的・概要		英語Ⅰの授業内容を踏まえ、看護や医学に関連した基礎的な「読む・書く・聞く・話す」能力の習得を目指す。看護に関連したエピソードについて英語で書かれた文章を読んで理解する読解力、医療現場で使えるコミュニケーション能力を伸ばす。同時に基礎医学および看護の実践で使われる機会が多い語彙、正しい発音と表現方法を修得し、保健・医療分野の専門用語を身に付ける。またパラグラフライティングの練習を通し、問診した内容の記述を練習する。課題学習等を通して教科書の内容を理解し、その後の遠隔授業においてフィードバックを行い理解を深める。				
学習上の助言		この授業では予習・復習を必ず行い、発音練習やペア/グループワークに積極的に参加し、遠隔授業中も積極的な姿勢で学習に取り組むこと。学習において不明・不安な点があれば遠隔授業中に質問を受け付ける。				
教科書		Caring for People 医療分野で働くためのコミュニケーションコース/著: Takao Okada, Michiko Mayuzumi、Tamiko Miyatsu、Philip Hinder、Kyoko Shida、Masako Sugita、Iwao Yamashita/Cengage Learning/2014				
参考書		特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	医療の現場に必要な語彙を身につける		HSU(2)(4)(5).NS(2)			
②	ネイティブスピーカーの英語を聞き取ることができる		HSU(2)(4)(5).NS(2)			
③	英語を聞いて、自分の意志を英語で伝えることができる		HSU(2)(4)(5).NS(2)			
④	学習した医療・看護英語の知識を用いて英文を作成したり読み解くことができる		HSU(2)(4)(5).NS(2)			
⑤	発話・会話練習を通して相手に伝わる英語を表現できる		HSU(2)(4)(5).NS(2)			
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	ガイダンス：学習方法、課題について説明	同時双方向型授業	教科書を読み、ユニットの構成を確認する。			
2	Unit 1:患者登録に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
3	Unit 2:病歴の把握に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
4	Unit 3:主訴・病状に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
5	Coffee Break、Essay 1：家族に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
6	Unit 4:バイタルサインに関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
7	Unit 5:検体採取に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
8	Unit 6:検査の注意や指示に関する表現を学習する。Unit 7:痛みに関する表現を学習する (疾病)。	同時双方向型授業	1			
9	Coffee Break2、Essay 2：道案内に関する表現を学習する (疾病)。	同時双方向型授業	1			
10	Unit 7:痛みに関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
11	Unit 8:投薬に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
12	Unit 9:介助・援助に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
13	Unit 10:栄養と食餌に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
14	Unit 11:入院患者のケアに関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
15	Unit 12:救命救急に関する表現を学習する。	同時双方向型授業	1			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

[基本教育科目/表現力の養成]

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		30	30	10	0	30	100	
総合力指標	知識・技術力	10	10	0	0	10	30	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10	
		10	0	0	0	10	20	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	定期試験を実施する。教科書で学習した語彙、文法項目、会話問題を元に問題を作成する。授業内で説明したことが試験内容の中心となるので、必ずノートを取って復習をすること					試験の添削・返却。
	②	✓						
	③							
	④	✓						
	⑤							
レポート	①	✓	教科書で学習した文法知識を使い、英文を作成する。日常会話・医療現場で使える単語を学習し、例文を作る。学期の半ばと最後の2回提出。					授業内でコメントする。
	②							
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
成果発表	①	✓	教科書で学習した Key Expressions を暗記し、発表する。棒読みではなく、リズム、イントネーション、発音に注意を払うこと。学期の最後に提出。					Teams 上でコメントする。
	②							
	③							
	④							
	⑤	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	オンラインフォームに教科書の問題の解答を入力し提出する。オンライン採点の正解率に応じて評価するため、入力ミスがないよう注意を払うこと。毎週提出。					授業内でコメント・解説する。
	②	✓						
	③							
	④	✓						
	⑤							
備 考								
Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスが変更される可能性があります。								